



基礎から学ぶ

ソフトウェア会計

費用or資産?計上の判断基準を会計士とプライム企業経理責任者が解説

WEBセミナー

10.2 FRI
15:00-16:30

AIの実用化やRPAによる業務効率化など、ビジネス環境は日々変化し、ソフトウェアの周辺取引や開発実務にも多様な形態が生じています。このような環境下でソフトウェアの開発コストを費用計上すべきか資産計上すべきか判断に迷う企業が少なくありません。ソフトウェアの会計基準が公表されてから25年以上経過し、当初想定されていない実務が生じていることも、これに拍車をかけています。

本セミナーでは、ソフトウェア関連ビジネスの上場企業の開示例を参照し、会計基準が求める本質を理解するとともに、不正事例から見える資産計上の基準も探ります。さらにソフトウェア開発費と研究開発税制の関連についても解説します。



開発コストは
費用か、無形資産か



上場企業の有報に見る
計上の勘所と不正事例



ソフトウェア会計を適用した
上場企業の実例

プライム企業が実例を解説!

クラウドERP開発・オロ
経理グループ長
植山 隆広氏



オロの
計上方法を
お伝えします

小山裕一氏

朝日税理士法人 サブマネージャー
公認会計士・税理士

ENTRY ※右の二次元コードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/261002>



お申込み ※右の二次元コードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/261002>



基礎から学ぶ、 ソフトウェア会計

朝日税理士法人
小山 裕一氏

1. ソフトウェア会計基準の概要
2. 上場企業の開示例に見る、基準の本質
3. 上場企業の不正事例に見る、資産計上の基準
4. ソフトウェア開発費と研究開発税制の関連

上場×SaaSベンダーに求められる ソフトウェア会計の実例

株式会社オロ
植山 隆広氏

「上場企業に求められるソフトウェア会計」の具体例として、「東証プライム企業でクラウドERPを開発提供する株式会社オロ」における、ソフトウェア会計処理の実例を経理グループ長が解説します。

1. オロにおけるソフトウェアの「市場販売目的・受注制作・自社利用」の分類
2. 「研究開発費と資産計上」の分類
3. 「ZAC」による「ソフトウェア会計」処理の実現事例

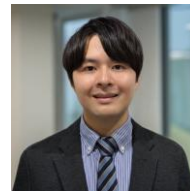
Q&A

ご参加の方のご質問にお答えいたします。ご質問はお申し込み時のアンケートまたはZoomのQ&Aよりお願いいたします。
※内容やお時間の都合により、すべてのご質問にお答えできない可能性があります。ご了承ください。

※本セミナーは以前開催した同名セミナーの内容と重複する箇所がございます。

朝日税理士法人 サブマネージャー/公認会計士・税理士 小山 裕一氏

あずさ監査法人で上場企業監査の現場責任者を務めた後、朝日税理士法人へ。現在はIPO準備会社の税務顧問を中心に、資本政策や制度会計導入等のコンサルティングを手掛ける。会計監査と税務の双方の経験を活かし、会計処理だけでなく税務上の取扱いまで見据えた実務的な支援を得意とする。監査法人向けの税制改正研修や社内研修の講師も務める。著書に『Q&A 新リース会計基準の適用実務』（中央経済社、共著）がある。



株式会社オロ コーポレート本部 経理グループ長 植山 隆広氏

新卒で株式会社オロへ入社し、クラウドERP「ZAC」の導入コンサルタントとして50件を超える導入プロジェクトに関与。
PMや導入主担当、導入支援部門の責任者を経験した後、現在は経理グループ長として経理実務と組織運営を担う。



基礎から学ぶ、ソフトウェア会計～費用or資産？計上の判断基準を会計士とプライム企業経理責任者が解説～

日時	2026年10月2日（金） 15:00～16:30（開演15分前よりアクセス可） ※ZoomにてLIVEで配信します。
定員	500名
対象	AIビジネス、プラットフォームビジネス、SaaSソフトウェア開発ビジネス等の上場企業・IPO準備企業のCFO、管理部長、経理部長 等
共催	朝日税理士法人／株式会社オロ／宝印刷株式会社／三菱UFJ信託銀行株式会社／東京海上日動パートナーズ株式会社／株式会社オービックビジネスコンサルタント
お問い合わせ	株式会社オービックビジネスコンサルタント 担当：坂本／山口 mail：obc-as@obc.co.jp

※ 講師・共催企業と同業の方、個人の方はお申込みをお断りいたします。
※ 講師・講演内容は予告なく変更になる可能性があります。